

## ふるさと教育 取組事例

学校名	安来市立能義小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	生活	もつとなかよし まちたんけん	学校まわりの各種施設 (ドーフィン、のきの郷、 能義交流センター、能義郵便局 クーパーウッドワークス)
ねらい		町で生活したり働いたりしている人々との関わりを深める活動を通して、町のよさや町の人々の温かさに気付き、町の人々への親しみや愛着をもつことができるようにする。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>○自分の住んでいる地域について知っていること、紹介したいことを家庭学習で調べ、交流し合う活動を行い、どこにどんなものがあるかを知ったり、気付きをワークシートにまとめたりしながら、町探検で行ってみたいところ、調べたいことを出し合い、学習課題を設定した。</p> <p>○町探検では、自分たちの生活と関わりのある施設、地域のために働いておられる人のところへ出かけ、「見る」「聞く」「体験」を通して、自分たちの町について知る活動を行い、発見したことを新聞にまとめた。</p> <p>○「発見した能義のすてきを学習発表会で発表しよう」という単元を貫く学習課題を設定し、町探検で発見したことを表現し、発表した。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○町探検では、子どもたちが調べたいことをまとめ、事前の打ち合わせで、子どもの願いや思いを伝え、活動の目的や内容を明確にし、気付きが深まるようにした。</p> <p>○町探検では、地域の人、もの、ことと自分たちの生活とのつながりや働く人の地域への思いにも気付くことができるように調べ学習の視点を与えた。</p> <p>○町探検を通してわかったこと、伝えたいことを学習発表会で発表することにより、自分たちが感じた地域のすばらしさを地域の人に発信した。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○児童がこれまでの生活経験を振り返りながら、さらに知りたい、調べたいと興味・関心をもった地域の人、もの、ことを取り上げることで、主体的に追究できる活動になるようにした。</p> <p>○町探検で学んだことのまとめ方については、様々な表現の仕方(新聞、劇、クイズ等)を経験し、自分たちが発見した内容が伝わる表現方法で表現することで、主体的な活動になるようにした。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○この学習をしたことにより、これまで無意識に触れていた地域の人、もの、ことについて親しみをもったり、主体的に関わったりできるようになった。</p> <p>○自分たちの生活から学習を始め、町探検の計画、町探検の活動をしたことで、自分たちの生活と地域との関わりを捉えながら地域のよさについて気付きを深めることができた。</p> <p>○町探検での人との交流では、地域の人の仕事に対する思いや、地域への思いに触れ、自分たちの生活がいろいろな人に支えられていることを知ることができた。</p>			

(学力育成の視点から)

- 児童がこれまでの生活経験を振り返りながら、さらに知りたい、調べたいと興味・関心をもった地域の人、もの、ことを取り上げ、学習課題を設定したことで、町探検では主体的に追究活動をし、気づきをまとめ、発信するといった探究的学習を進めることができた。
- 学習発表会では、自分たちが住む地域のよさをより多くの人に知ってもらいたいと、地域のことを自分事と捉え、思いや願いをもって意欲的に表現活動に取り組むことができた。

4 課題や今後の展望

- 地域に児童が直接利用する施設（お店など）が少なく、町探検に関しての地域での生活経験が児童によって多かたり、少なかたりする。そのような実態において、児童の意識や興味、関心をどう高めていくか、学習展開の工夫が必要である。
- 地域の教育資源（ひと・もの・こと）を開発し、継続して活用することで、学習のねらいや学習内容について理解をしてもらうようにし、学習活動がよりねらいに迫るものになるようにする。

